

令和3年度 学校関係者評価報告書

1 学校の教育目標

自動車・機械・建築及び情報処理・生命工学を中心とする工業分野で役立つ人材を育成し、我が国の産業の発展に寄与する。

2 学校の教育目標や計画に対する評価・意見

(1) 個性の伸展について

一人ひとりが他の人にはない、真似のできない個性を重視して教育されている。

(2) 資格の取得について

- ・ 実社会に適応し得る技術（資格）の修得は十分とはいえない。
- ・ 資格試験受験者増加の努力はしているが、必要な資格試験の受験者・合格者が少ない。

(3) ビジネスマナーの教育を通じ、組織人として必要な企業活動への積極的な姿勢を概ね修得させている。

(4) 学生の約半数を留学生在が占めており、国際的な感覚を持った社会人（学生）の育成に努力されいている。

(5) 豊かな人生を送るための素養について、概ね涵養されている。

3 評価項目の達成及び取組状況

<評価点：4 適切、3 ほぼ適切、2 やや不適切、1 不適切>

(1) 教育理念・目標	: 3.8
(2) 学校運営	: 3.6
(3) 教育活動	: 3.5
(4) 学修成果	: 3.5
(5) 学生支援	: 3.5
(6) 教育環境	: 3.8
(7) 学生の受入れ募集	: 4.0
(8) 財務	: 4.0
(9) 法令等の遵守	: 3.8
(10) 社会貢献・地域貢献	: 3.4
(11) 国際交流	: 3.6

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1) 良好な点

- ア 機械・自動車、建築デザイン、バイオ工学及びITの各分野で役立つ人材が育成されている。
- イ 学校運営、学修成果、募集、就職支援及び学生指導等が適切に実施されている。
- ウ 学生の就職活動に際して、希望する学生にWebによる説明会・面接等の環境の提供するなど学生を学校全体で支援している。
- エ 教職員会議で学生の勉学意欲の低下防止のための情報共有を行うなど、実社会で必要な技術を修得させるための努力が窺える。
- オ 名古屋駅周辺地区の都市再生安全確保計画の大規模震災時における臨時退避施設（一般教室の提供）に参加するなど、地域社会への貢献に努めている。
- カ 中期（5年）の経営改善計画を策定し、具体的な取り組み、実績・成果及び評価・改善されている。

(2) 改善すべき点（要望・意見含む）

- ア 長期（10・20年）展望に立った学校運営・経営改善計画の策定が必要である。
- イ 学校運営における業務の合理化効率化のため、更新された校務システムを有効活用できるように早期の習熟化に努める。
- ウ 留学生の日本語能力向上、特に専門用語・漢字の読み書き（検定試験含む）の習得が必要である。
- エ 卒業生の就職先情報の収集及び動向の把握が必要である。